

高浜高校SBPの取組みが始まっています！

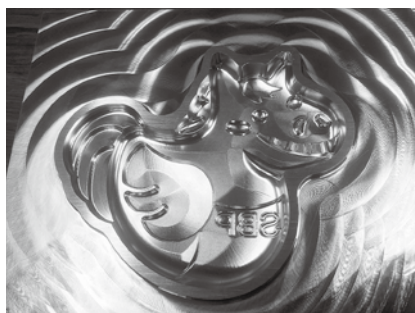
■高浜高校SBPとは？

SBPは「ソーシャル・ビジネス・プロジェクト」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて、ひと、モノ、歴史、産業などの地域資源を活用し、まちづくりやビジネスを提案するとともに、地域からの応援をいただき実行していくものです。SBPは、三重県多気町にある、相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例とし、岸川政之さんの発案で、平成25年4月に三重県立南伊勢高等学校で最初のSBPが立ち上がりました。今、この取組みが全国に広がっています。

平成28年7月7日に高浜高校普通科1年生向けに「高校生レストランの仕掛人」である岸川政之さんが講演を行い、みずから手をあげた8人で活動を行っています。



▲全国SBP交流フェアのようす
岸川さん(前列左)、高浜高校SBP、市長(前列右)



▲愛興工業株式が製作した金型の試作



▲三州瓦工業協同組合が製作したキャラクターの種型

岸川 政之さん

1982年多気町入庁。2011年「まちの宝創造特命監」に就任。高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店「せんぱいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。これらは、国土交通省ふるさと手づくり賞大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、2011年5月には「高校生レストラン」と題してテレビドラマ化もされ、話題を呼んでいる。

■取組み

平成28年8月20日に伊勢神宮外宮前で開催された全国SBP交流フェアでシークレット商品を含めた、ガチャガチャを販売しました。現在は、SBPの先輩である南伊勢高校SBPがご当地のキャラクターをたい焼き風にして販売をしていることにヒントを得て、お客さんが希望する形のキャラクター焼き金型(仮称)の製作請負事業を全国展開していく取組みを始めています。そのなかで、高浜市の伝統技術を持つ三州瓦工業協同組合にキャラクターを形にいただき、自動車産業の最先端技術を持つ愛興工業株式会社にその種型を基に金型の製作していただいています。

2月1日に開催した『ざっくばらんなカフェ』でこれまでの取組みの活動報告を行いました。今後は、キャラクター焼き金型(仮称)の営業活動を行っていきたいと考えています。



▲ざっくばらんなカフェのようす▶



問合せ先 三州瓦工業協同組合 ☎ 52-1111 (内線 271)